

歴史民俗資料館だより

No.31
文化生涯学習課
資料館係

本年も歴史とともに
桜川市歴史民俗資料館

新年あけまして

おめでとうございます

今年も歴史民俗資料館は新
規開館までの準備期間です。

今や茨城県を代表する歴史
の町、桜川市。そこにある歴
史民俗資料館は県内外の方々
から愛され、その理念や取り
組みが世の大手とされるよう
な施設を目指してまいります。



大和地区 雨引山樂法寺の黒門

歴史の風景

雨引山樂法寺の風景

発掘が進む真壁城跡。城跡か
ら北を眺めると雨引山樂法寺が
見えます。

戦国時代の真壁氏は本堂を再
興し、大般若経や土地を寄進す
るなど、大切に保護しました。
樂法寺の黒門は真壁城の城門を
寄進した伝承があります。城を
守る兵達も、たびたび樂法寺を
眺め拝んだことでしょう。



発掘中の真壁城跡から樂法寺方面を望む

歴史のことば 1月

「天地の

和して一輪 福寿草

咲くやこの花

幾世経るとも」

『二宮尊徳 道歌』

訳 何気なく咲いているように
見える一輪の福寿草も、太陽の
光、雨、風、大地の養分など、
無数の要素が揃ってはじめて咲
くことができる。それは永遠に
変わらぬ自然の道理である。
私たちも、けっして一人で生
きているのではない。
社会もまた同じ。様々な要素
が揃い、支え合うことで、自然
も人も互いに生かされている。
自分を支えてくれる人の絆、
社会を成り立たせている自然
歴史、環境といった世の中の多
くの支えや道理を思いながら、
生きてゆくことが大切である。

今年の「歴史のことば」は江
戸時代のことばです。

新しい歴史民俗資料館は、江
戸時代の「真壁陣屋跡」の発掘
成果を最大限に活かす施設。

そこは江戸時代を生きた人々
の「歩み」と「思い」を道しる
べとして、過去と現在の思いが
通じ、未来に繋がる施設であり
たいと願っています。

天明7年(1787)、現在
の小田原市に生れた二宮金次郎
(1858没)。二宮尊徳として
知られ、多くの農村復興に努め
たその生涯は、真壁陣屋跡の年
代と重なります。陣屋跡の出土
品は彼と同じ時代を生きた証言
者。そう思うと二宮尊徳がとて
も身近に感じられます。

幼いころ、一家離散を経験し
た金次郎。多くの苦難を、勤勉
さと工夫、そして熱意で乗り
切った彼は、桜川市にも足跡を
残しています。市内大和地区の
青木堰跡は天保4年(1833)
に旧青木村を復興した証です。



大和地区 青木堰跡地

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ